

## 平成28年度ごみ排出量等の実績について

## 1 平成28年度ごみ排出量の実績

本市の平成28年度のごみ排出量は、366,095 tであり、平成27年度に比べて5,867 t (1.6%) 減少している。

一方、広島市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(以下「計画」という。)における目標値との比較では、平成28年度目標値の推計値365,959 t<sup>\*</sup>に対して136 t多く、減量幅で計算した目標達成率は、97.7%であった。

また、平成28年度の1人1日当たりのごみ排出量は、841 gであり、平成27年度に比べて13 g (1.5%) 減少している。これは、平成28年度目標値の推計値844 g<sup>\*</sup>よりも3 g少なく、目標達成率は120%であった。

※ 計画の目標値は、平成31年度(中間目標年度)及び平成36年度(最終目標年度)で設定しており、各年度ごとには設定していないが、便宜的に各年度に目標値を割り振って推計した。

項目	平成25年度 実績 (基準年度) (A)	平成26年度 実績	平成27年度 実績 (B)	平成28年度 実績 (C)	対前年度 増減 (C-B)	平成28年度 目標値 (D) <sup>*</sup>	目標達成率 (C-A)/(D-A) ×100 <sup>*</sup>
排出量(t)	371,937	371,336	371,962	366,095	△ 5,867 (△1.6%)	365,959	97.7%
家庭ごみ(t)	214,681	212,985	211,808	206,599	△ 5,209 (△2.5%)	—	—
事業ごみ(t)	155,424	156,543	158,370	157,758	△ 612 (△0.4%)	—	—
都市美化ごみ (t)	1,832	1,808	1,784	1,738	△ 46 (△2.6%)	—	—
1人1日当たりのごみ 排出量(g/人日)	859	856	854	841	△ 13 (△1.5%)	844	120.0%
人口(人)	1,185,815	1,188,315	1,190,629	1,192,975	+2,346 (+0.2%)	(1,188,554)	—

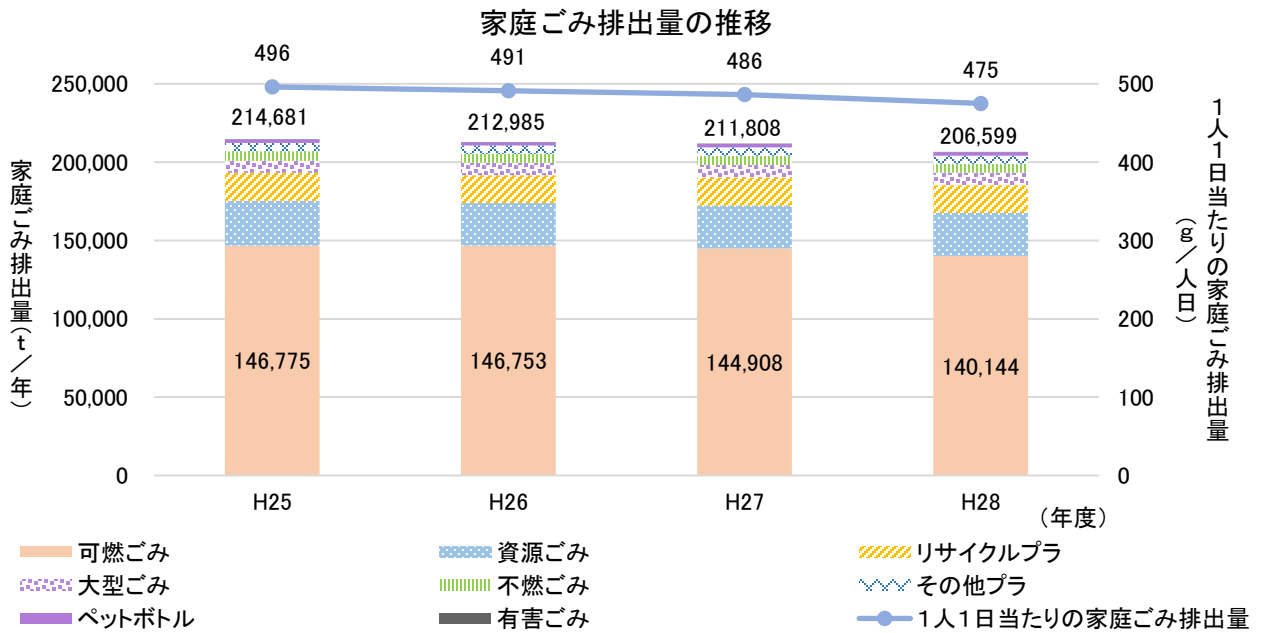
(注) ・ 平成26年度～平成28年度の排出量は、平成26年8月20日の豪雨災害により発生した災害廃棄物量を除いた量

- ・ 目標達成率の割合は、小数点第2位を四捨五入している。
- ・ 人口については、実績は各年度の9月末の人口であり、平成28年度目標値は、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口を基に推計したものである。

(1) 家庭ごみ

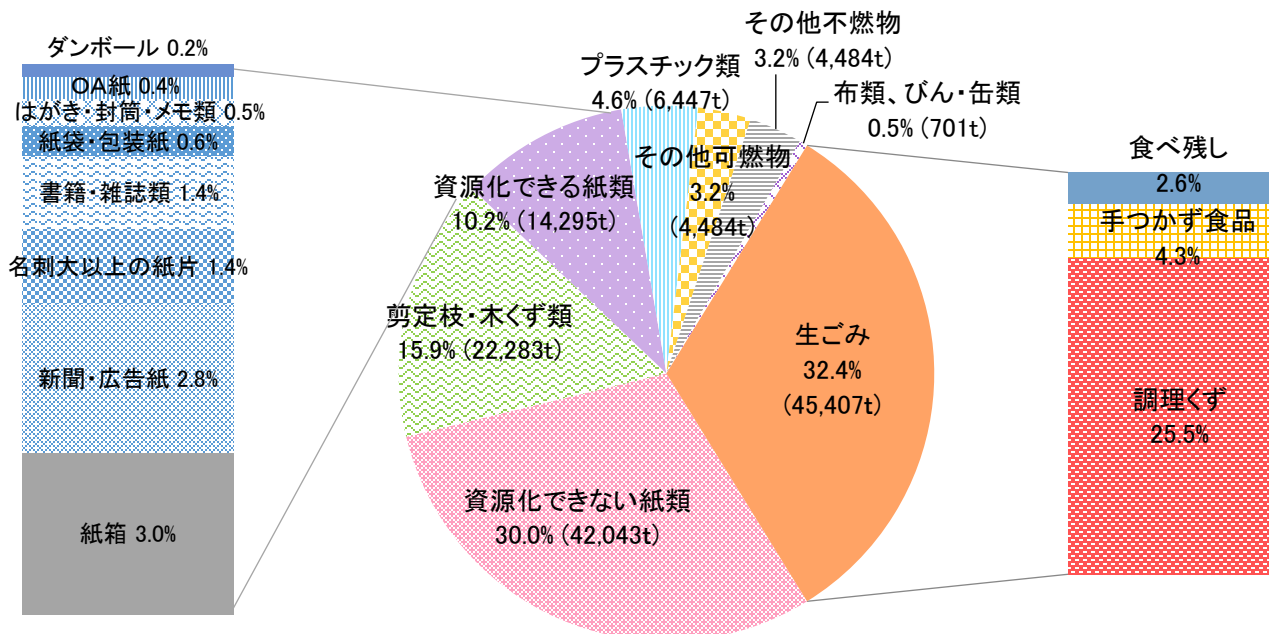
平成28年度の家庭ごみ排出量は206,599tであり、基準年度の平成25年度から年々減少し、平成25年度と比べ8,082t(3.8%)減少している。

1人1日当たりの排出量についても、平成25年度から毎年減少しており、市民等のごみ減量に対する取組が進んでいるといえる。



(参考) 家庭系可燃ごみ(140,144t)の組成分析の結果(平成28年度)

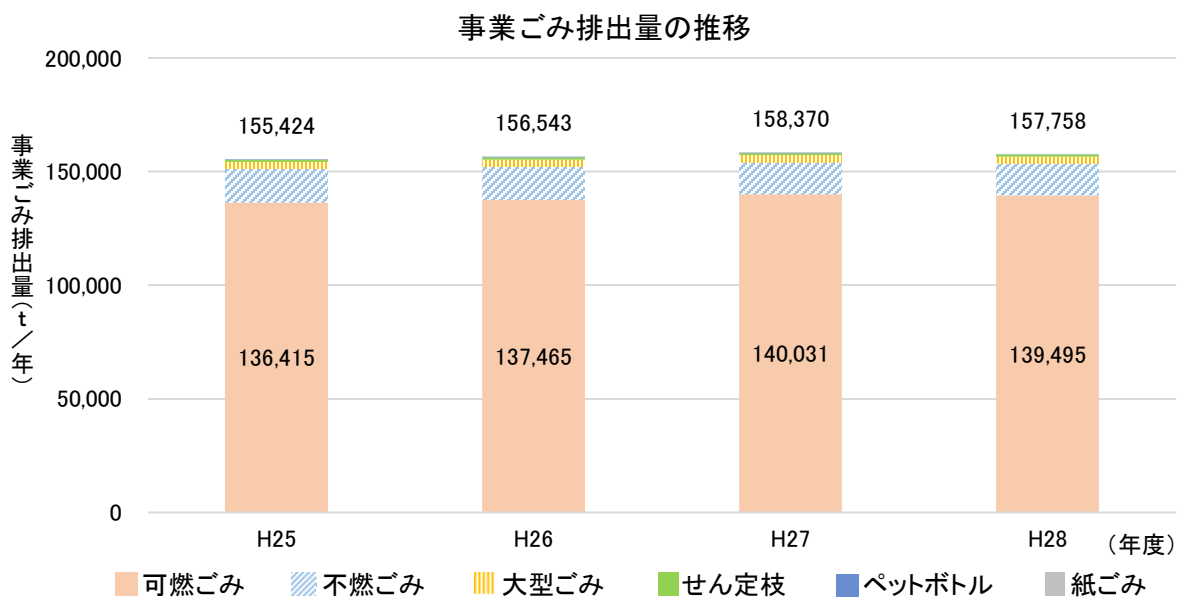
平成28年度の家庭系可燃ごみの組成を見ると、紙類が約40%、生ごみが約32%で、この2種類で全体の約7割を占めている。このうち、紙類については、約10%が資源化できる紙類であり、その主な内訳は、紙箱、新聞・広告紙等であった。生ごみの内訳は、調理くずが約26%、手つかず食品が約4%、食べ残しが約3%となっている。



(注)ごみ量は、ごみ組成分析調査により得られた組成割合に基づき推計した。

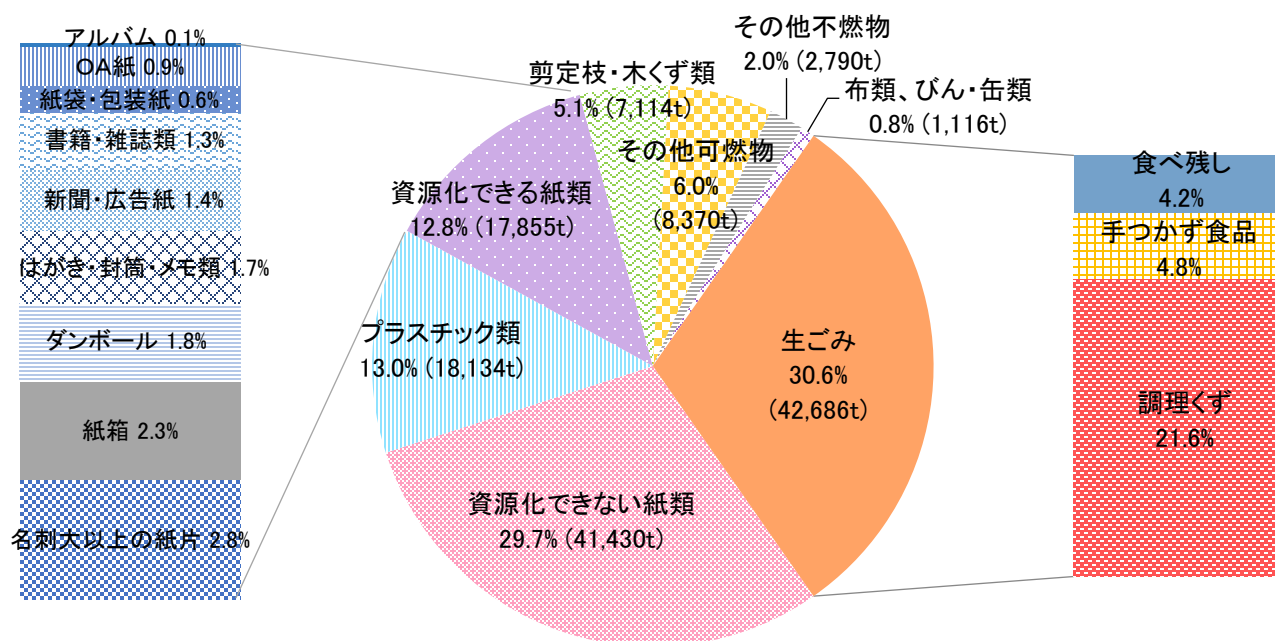
## (2) 事業ごみ

平成28年度の事業ごみ排出量は157,758tであり、平成27年度に比べると、6,122t(0.4%)減少しているものの、基準年度の平成25年度と比べて2,334t(1.5%)増加している。減量に向けた更なる対策が必要であるといえる。



### (参考) 事業系可燃ごみ(139,495t)の組成分析(平成28年度)

平成28年度の事業系可燃ごみの組成を見ると、紙類が約43%、生ごみが約31%で、この2種類で全体の約7割を占めている。このうち、紙類については、約13%が資源化できる紙類であり、その主な内訳は、紙箱、ダンボール等であった。生ごみの内訳は、調理くず等が約22%、手つかず食品が約5%、食べ残しが約4%となっている。



(注) ごみ量は、ごみ組成分析調査により得られた組成割合に基づき推計した。

## 2 平成28年度ごみ処理量の実績

平成28年度のごみ処理量は399,831 tであり、基準年度の平成25年度以降、平成27年度までは増加傾向にあったものの、平成28年度に減少している（平成27年度比7,854 t、1.9%の減）。

これは、ごみの排出量が減少したことにより、焼却量が減少するとともに、それに伴う焼却灰の埋立量が減少したことによるものである。

一方、目標値の比較では、焼却量については、平成28年度目標値の推計値298,196 t<sup>※</sup>に対して1,814 t多く、目標達成率は、67%であった。

また、埋立量については、平成28年度目標値の推計値55,175 t<sup>※</sup>に対して1,745 t少く、目標達成率は、355.1%であった。

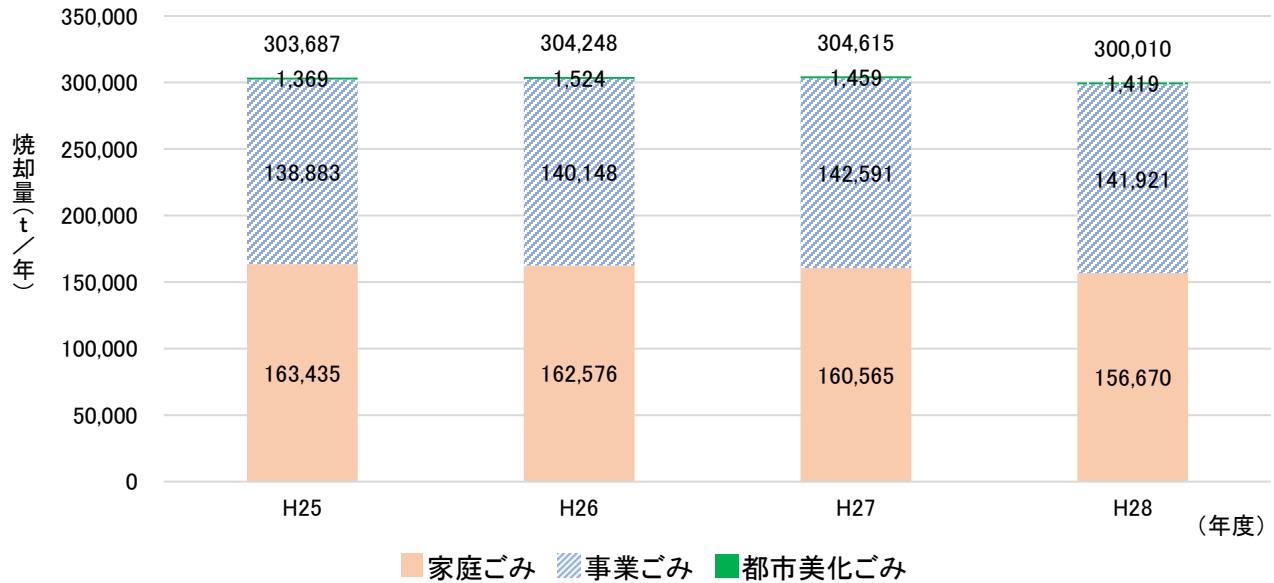
※ 事業系プラスチックの焼却化の実施時期を変更したことにより、下表のとおり、焼却量、埋立量ともに、実績値が当初の目標値と乖離している。このため、事業系プラスチックの焼却化の実施時期を変更した場合の目標値を推計し実績値と比較した（下表の【 】内の数値）。

項目	平成25年度 実績 (基準年度) (A)	平成26年度 実績	平成27年度 実績 (B)	平成28年度 実績 (C)	対前年度 増減 (C-B)	平成28年度 目標値 (D) <sup>※</sup>	目標達成率 (C-A)/(D-A) ×100 <sup>※</sup>
処理量(t)	405,959	407,151	407,685	399,831	△7,854 (△1.9%)	—	—
焼却量(t)	303,687	304,248	304,615	300,010	△4,605 (△1.5%)	304,432 【298,196】	— 【67.0%】
埋立量							
埋立率	15.0%	15.0%	15.0%	14.6%	△0.4%	—	—
埋立量(t)	55,859	55,731	55,972	53,430	△2,542 (△4.5%)	49,550 【55,175】	— 【355.1%】
資源化量							
資源化率	12.5%	12.7%	12.7%	12.7%	0%	—	—
資源化量(t)	46,413	47,172	47,098	46,391	△707 (△1.5%)	—	—

(1) 焼却量

平成28年度の焼却量は、300,010 tであり、平成27年度に比べて4,605 t（1.5%）減少している。これは、家庭ごみ、事業ごみとも焼却量が減少したことによるものである。  
 また、基準年度である平成25年度と比べても、3,677 t（1.2%）減少している。

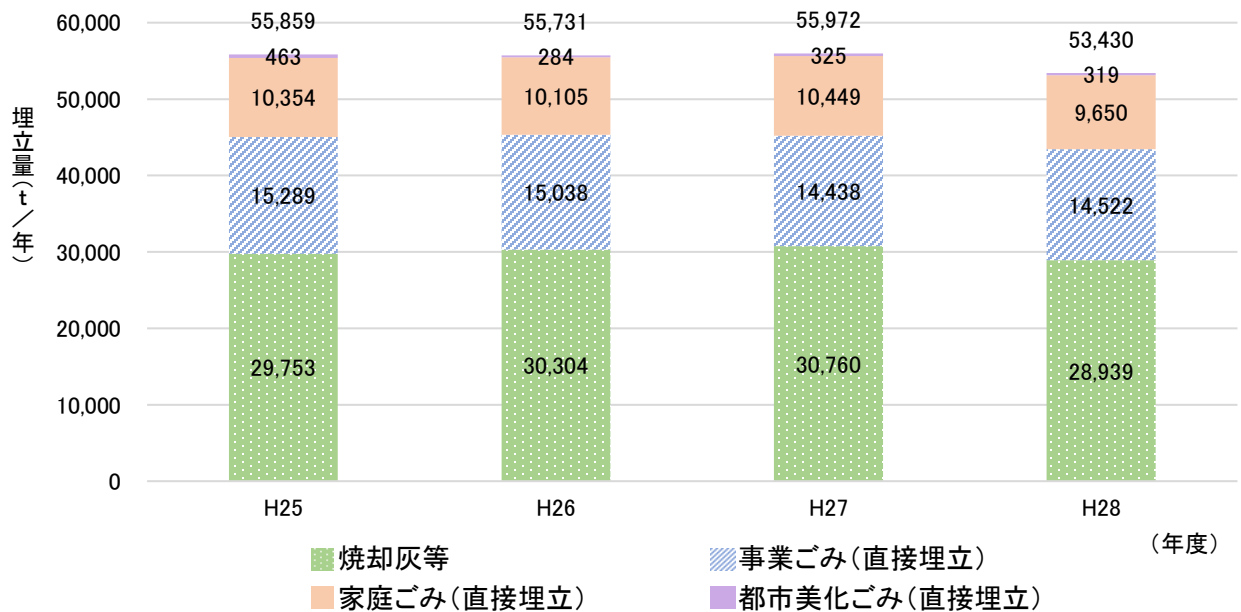
焼却量の推移



(2) 埋立量

平成28年度の埋立量は、53,430 tであり、平成27年度に比べて、2,542 t（4.5%）減少した。これは、焼却灰等、家庭ごみとも埋立量が減少したことによるものである。  
 また、基準年度である平成25年度と比べても、2,429 t（4.3%）減少している。

埋立量の推移

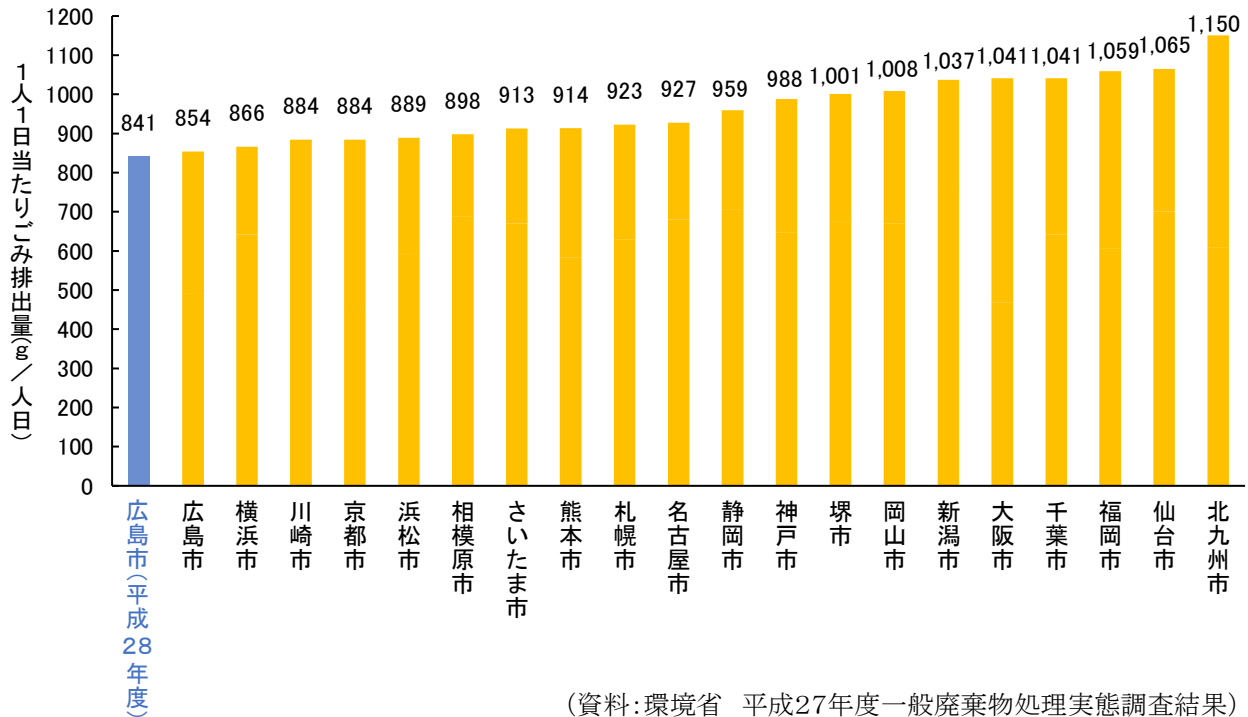


### 3 まとめ

本市の平成28年度の1人1日当たりのごみ排出量は、841gであった。他の政令指定都市の平成28年度の実績はまだ公表されていないため、平成27年度実績と比較すると、平成17年度以降、政令指定都市の中で最少の水準を維持している。また、県内の人口10万人以上の都市の中でも最少の水準である。

今後も最少の水準を維持できるよう、広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の行動計画に基づく各種施策に一層取り組んでいく必要がある。

(参考)政令指定都市における1人1日当たりのごみ排出量(平成27年度実績)



(参考)県内の都市(人口10万人以上)における1人1日当たりのごみ排出量(平成27年度実績)

